



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日工株式会社

コード番号 6306 URL <http://www.nikko-net.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 辻 勝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 藤井 博 TEL 078-947-3141

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト・新聞記者向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	18,225	6.3	1,000	4.2	1,588	53.5	1,099	9.6
2020年3月期第2四半期	17,140	16.6	959	102.3	1,034	73.6	1,003	77.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,272百万円 (231.1%) 2020年3月期第2四半期 384百万円 (△17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	28.54	—
2020年3月期第2四半期	26.12	—

当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	45,885	30,413	66.2	795.75
2020年3月期	45,677	30,293	66.3	780.68

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 30,387百万円 2020年3月期 30,267百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	100.00	—	20.00	—
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で、株式分割を実施しております。2020年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、2020年3月期の配当には、100周年記念配当として、中間配当50円、期末配当10円が含まれております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	3.8	2,200	7.1	2,700	26.0	1,850	16.4	47.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	40,000,000株	2020年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,812,630株	2020年3月期	1,229,230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	38,512,603株	2020年3月期2Q	38,407,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は2020年11月5日（木）に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2020年11月26日（木）にアナリスト向け説明会（テレフォンカンファレンス）を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言の解除後は、徐々に経済活動が再開され、景気の持ち直しが期待されますが、感染者数の際だった減少もなく予断を許さない状況が続いております。

当社の関係の深い建設業界におきましては、政府による緊急事態宣言の発令に伴い、建築工事現場における工事の中断・延期、先行き不安による新規投資が抑制される等の影響がみられました。

このような状況の中ではありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外売上は減少したものの、国内のアスファルトプラント関連事業、コンクリートプラント関連事業の売上が増加したため増収となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は182億25百万円（前年同四半期比6.3%増）、損益面では連結営業利益10億円（前年同四半期比4.2%増）、連結経常利益15億88百万円（前年同四半期比53.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億99百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。売上高営業利益率は、前年同四半期比0.1%減の5.5%となりました。また、当第2四半期連結累計期間の連結受注高も、前年同四半期比13.0%増の190億36百万円となりました。これは国内のアスファルトプラント関連事業、コンクリートプラント関連事業が引き続き好調に推移したことに加えて、中国での受注が徐々に回復してきたことによるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;アスファルトプラント関連事業&gt;

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、海外売上は前年同四半期比減少したものの、国内の製品及びメンテナンス事業ともに前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比9.9%増の95億27百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高は前年同四半期比増加、受注残高は前年同四半期比減少しました。

## &lt;コンクリートプラント関連事業&gt;

国内の製品及びメンテナンス事業ともに前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比7.6%増の49億18百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

## &lt;環境及び搬送関連事業&gt;

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、環境製品、搬送製品ともに売上高は前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比21.8%減の10億59百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

## &lt;その他&gt;

仮設機材、モバイル事業の売上高が前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比6.7%増の27億19百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高は前年同四半期比増加、受注残高は前年同四半期比減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は458億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億8百万円の増加となりました。

流動資産は、305億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億57百万円減少いたしました。主な要因は、電子記録債権の93百万円、たな卸資産の4億39百万円、その他の1億11百万円それぞれ増加、現金及び預金の10億46百万円、受取手形及び売掛金の4億56百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産は、153億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億66百万円増加いたしました。主な要因は、建物及び構築物の1億32百万円、機械装置及び運搬具の1億11百万円、土地の5億67百万円、投資有価証券1億57百万円それぞれ増加、その他の43百万円減少したこと等によるものです。

負債は、154億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して88百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務の1億96百万円、短期借入金の3億35百万円、その他の5億22百万円のそれぞれ増加、支払手形及び買掛金の2億95百万円、ファクタリング未払金の6億33百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産は、304億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億20百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益10億99百万円の計上による増加、配当金7億75百万円の支払いと自己株式の取得及び処分による3億85百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.3%から66.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,622	11,576
受取手形及び売掛金	9,902	9,445
電子記録債権	1,709	1,802
商品及び製品	935	1,091
仕掛品	4,473	4,590
原材料及び貯蔵品	1,237	1,404
その他	560	671
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	31,426	30,569
固定資産		
有形固定資産	7,362	8,295
無形固定資産	431	471
投資その他の資産		
投資有価証券	4,341	4,499
出資金	11	11
長期貸付金	12	11
繰延税金資産	953	934
その他	1,287	1,243
貸倒引当金	△150	△149
投資その他の資産合計	6,456	6,549
固定資産合計	14,250	15,316
資産合計	45,677	45,885

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,430	2,135
電子記録債務	1,176	1,373
ファクタリング未払金	3,427	2,794
短期借入金	1,548	1,884
未払法人税等	627	552
未払金	538	419
賞与引当金	415	468
役員賞与引当金	65	8
受注損失引当金	54	114
その他	2,260	2,782
流動負債合計	12,545	12,533
固定負債		
長期借入金	239	326
繰延税金負債	5	5
役員退職慰労引当金	145	157
退職給付に係る負債	2,089	2,099
その他	358	350
固定負債合計	2,838	2,939
負債合計	15,383	15,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,918	7,926
利益剰余金	12,632	12,956
自己株式	△420	△805
株主資本合計	29,328	29,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,119	1,243
為替換算調整勘定	55	96
退職給付に係る調整累計額	△235	△226
その他の包括利益累計額合計	939	1,112
非支配株主持分	25	25
純資産合計	30,293	30,413
負債純資産合計	45,677	45,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	17,140	18,225
売上原価	12,414	13,441
売上総利益	4,725	4,783
販売費及び一般管理費	3,766	3,783
営業利益	959	1,000
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	108	518
為替差益	-	28
その他	29	90
営業外収益合計	138	639
営業外費用		
支払利息	26	18
固定資産処分損	0	7
為替差損	28	-
損害賠償金	4	10
その他	4	14
営業外費用合計	63	50
経常利益	1,034	1,588
特別利益		
投資有価証券売却益	454	86
特別利益合計	454	86
特別損失		
投資有価証券売却損	4	1
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	1,484	1,672
法人税、住民税及び事業税	552	612
法人税等調整額	△70	△38
法人税等合計	481	573
四半期純利益	1,003	1,099
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003	1,099

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,003	1,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△485	123
為替換算調整勘定	△140	41
退職給付に係る調整額	7	8
その他の包括利益合計	△618	173
四半期包括利益	384	1,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384	1,272
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式616,700株取得しております。また、当社役員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を35,800株処分しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が7百万円、自己株式が385百万円それぞれ増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。